

大阪大学

ハラスメント防止等に関する研修会

アカデミック・ハラスメント問題を掘り下げる
— その防止と、相談ケース対応 —

令和5年7月12日(水) 14:00～16:00
【オンライン開催】

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は6月28日(水)までにご連絡ください。



講師 北仲 千里氏 広島大学ハラスメント相談室 准教授

概要

近年、日本の大学では、求められる研究倫理や法令遵守、人権問題への対応がますます要請されるようになっていきます。その中でも「セクシュアル・ハラスメント以外の研究・教育の場でのハラスメント＝アカデミック・ハラスメント」は、さまざまなタイプや状況があり、以前よりも問題とされることが多くなりました。それに加え、各大学でのハラスメント相談対応では、「訴えて、事実を調査し、処分する」という、つまり「大事(おおごと)になる」ような選択肢のほかに、小さな事件のうちに被害の拡大を防ぐような柔軟な対応もすることが、重要なポイントになってきています。今回は、広島大学で取り組んでいる「調整」対応などについてもお話しし、大学の関係者全体で、被害を防ぎ、また問題に適切に対応することについて考えたいと思います。

講師紹介

2007年より、広島大学ハラスメント相談室准教授及びハラスメント相談室専任教員として従事。専門は社会学。特にジェンダー論。1997年頃より「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク」設立にかかわる。現在、NPO法人全国女性シェルターネット共同代表、NPO法人性暴力被害者サポートひろしま代表理事(性暴力ワンストップセンター受託)、内閣府「女性に対する暴力に関する専門調査会」委員などに就任。
主な著作『アカデミック・ハラスメントの解決』寿郎社 横山美栄子との共著2017年8月 ほか。

対象者

全教職員、学生、一般の方

参加方法

お申し込み、参加方法の詳細は右のコードからご確認ください。

